

豪雨を教訓に！



【写真の説明】 ①魚貴町の土砂災害（牛深） ②鶴葉山の土砂崩れ（牛深） ③朝4時、茂申地区の浸水（牛深）
④女岳地区の土砂崩れ（河浦） ⑤高森町からのボランティア（牛深）
⑥泥かき作業をする消防団員（御所浦） ⑦大量に発生した災害ごみ（牛深）

浸水被害や土砂災害が多く発生したため、復旧に時間がかかっています。復旧作業では、市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターを通じて、多くのボランティアの皆さんに協力していただきありがとうございます。

そんな中、御所浦地域では、7月4日の災害発生の日から住民や消防団、建設業、市職員などみんなで協力して、道路や家の外の泥かきを行い、2日間で最低限必要な作業を終えるなど、地域力を生かした復旧作業が行われていました。

また、今回の豪雨は真夜中に発生したため、被災された人からは、「寝ているとき携帯電話に警報が何度も届いていることは知っていたが、まさか自分の所だと思わず、避難が遅れた」という声も聞かれました。

この豪雨災害を教訓として、避難する際の声掛けや被災した後の助け合いができる、人と人とのつながりを築いておくことの重要性を再認識させられました。

まずは避難訓練に参加し、避難経路や身近なところから暮らしている人たちを知ることから始めてみてはいかがでしょうか。



7月3日の夜から4日の明け方にかけて10時間にわたり降り続いた豪雨は、各地に大きな爪痕を残しました。県内では、死者が65人、行方不明者が2人となる甚大な被害となりました。

天草市内では、4人の負傷者があり、床上・床下浸水や土砂崩れなど多くの被害が発生しました。

この度の豪雨で被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。災害はいつ、どこで起きてもおかしくありません。避難訓練に参加するなど、日ごろの備えをお願いします。

☎ 防災危機管理課 24-18817

一斉避難訓練を実施します

☎ 防災危機管理課 ☎ 24-8817



9月6日⑩ 午前9時～

サイレンが、避難訓練開始の合図です。

避難する場所は区からのお知らせなどで事前に確認をお願いします。※マスク着用をお願いします。※荒天や新型コロナウイルスの感染状況で中止する場合があります。

- 避難する際に心がけておくこと
- 危険な箇所は浸水・土砂災害・暴風・地震・津波など、災害の種類によって異なります。訓練や総合防災マップで確認してください。
- 避難時は感染症対策としてマスクを着用し、「非常持ち出し袋」やそれぞれ必要なもの（ラジオ・常備薬・食料品など）を持つ。
- 避難前には必ず電気、ガスなどの火元を確認する。
- 体の不自由な人、お年寄りなど避難に時間のかかる人はみんなで手助けして、早めに避難！

888 みつばちラジオでも一斉避難訓練と連動して番組を放送します。

午前8時30分～ FM88.8Mhz

チャンネルを合わせてラジオを聞きながら訓練に参加しましょう。

LINE や安心・安全メールでお知らせ

▲市公式 LINE ▲安心・安全メール re-ansin@amakusa-web.jp

市公式LINEアカウントや安心安全メールに登録すると、9月6日の午前9時に訓練の通知が届きます。



■被災状況（7月31日時点）

床上浸水	138件（牛深127、御所浦6、河浦5）
床下浸水	266件（本渡3、牛深205、御所浦45、新和4、河浦9）
道路被害	国道7件 市道60件
河川被害	県管理23件 市管理76件
避難所開設数	35カ所【7月4日】
避難者数	71人【7月4日】

■降水量（牛深）

1時間降水量	98mm
最大24時間降水量	428mm